平成２４年大磯町議会

６月定例会一般質問（６月７日・８日）

質問議員	質　問　事　項（　１　日　目　）	答弁者
１ ７番 竹内恵美子議員 (50 分) 9:05～9:55	１．中﨑町長の町政運営について 庁内組織体制強化のための機構改革について問う （１）３月定例会の総括質疑で質問したが、危機管理対策室については、今これだけ災害について騒がれている中、職員の人数削減はいかがか。 （２）５月から部制を敷いたが、議会事務局長はなぜ部長職ではないのか。 （３）建設経済部は、４課、１担当、美化センターと守備範囲が広いが大丈夫か。 （４）職員研修の方針は。 ２．来年度から高校の入試制度が変わる （１）大きく変わるところ、変更点は。 （２）改善の方針は。 （３）生徒、保護者の不安を除くために、教育委員会としてどのような支援ができるのか。	町　長 町　長 教育長
２ ８番 髙橋冨美子議員 (50 分) 10:15～11:05	１．学校法人小磯学園こいそ幼稚園との合意書の中身や備品の譲与はどうであるか （１）小磯幼稚園民営化運営委員会委員である保護者、地域、町立幼稚園教職員等の代表による様々な思いのこもった合意書は守られているのか。 ①園庭や施設を地域に開放する。 ②地域との交流を積極的に図り、町立学校、幼稚園と積極的に連携、協力を図る。 ③保護者の負担に配慮した運営を行い、経済的な負担増については、その都度保護者会に説明する。 （２）「建物等譲与契約書」における付属物の備品等はどのような備品か。 ２．大磯中学校へのエレベーター設置の展望はどうか （１）現在、小学６年生の児童が車イスを使用して学校生活を送っている。平成 25 年４月には、大磯中学への入学を希望している。それまでにエレベーターを設置すべきと思うが。	町　長 教育長 町　長 教育長

	（２）「特別支援教育を考える会」より、大磯中学校のエレベーター設置を求める要望書が４月 25 日に町長に渡された。保護者の切実な思いを受けとめるべきと思うが。 ３．生活交通バスの運行状況について （１）「新たにバスが運行する経路」はどのように決められたのか。また、どのような利用状況か。 （２）西小磯地区２便、高麗地区１便であるが、どのような利用として考えたのか。 （３）ダイヤの改正はできるのか。 （４）今年度予算、2,100 万円の内訳は。	町　長
３ ５番 三澤　龍夫議員 （30 分） 11:20～11:50	１．北浜海岸のバーベキューについて 北下町の卓話集会でもあがっていた海岸でのバーベキューについて町の考えを問う。 自由使用が原則の海岸に何らかの規制をかけることは、むずかしいと認識しているが、実際、迷惑を被っている住民がいる現実がある。 どう対応するのか。 ２．コミュニティバス事業について 高低差のあるこの町で、高齢化が進むことによって、コミュニティバスの要望がこれからも出てくると思う。ただ、自治体経営の中で、すべての要望に応えることはできず、町の考えを整理しておく必要があると思うが。	町　長 町　長
４ １５番 清水　弘子議員 （50 分） 13:00～13:50	１．減災への取り組みは （１）３月 27 日、県沿岸部の津波予測図の確定を受けて、地域性を踏まえた避難計画の策定をされるが、実行性ある取り組みとは。 （２）大磯町内の地区も各地区ごとに特性がある。石神台地区では３月 10 日講師を招いて現地周辺の調査をした。その折、問題点も指摘された。減災への取り組みとして、危険な場所、三丁目の山の排水路について、一丁目の擁壁などの対応は。 ２．国際学園から保証金１億 8,000 万円は支払われたか （１）星槎グループ国際学園から１億 8,000 万円はその後の交渉で３月 31 日までに支払われたか。	町　長 町　長

	（２）万台こゆるぎの森のサッカー場の擁壁工事の完了検査の手続きは終了したか。 ３．鴫立庵西側の葬儀場建設の白紙撤回を求める 大磯町役場、鴫立庵隣接の(株)サンライフ葬儀場の建設計画の白紙撤回を求めている。(株)サンライフ会長と町長のトップ会談が続行中にもかかわらず、開発事前協議書が提出された。５月 19 日には公聴会も開かれた。 葬儀場計画場所は交差点である。事故も多く防災上からも白紙にすべきである。 町長としてどのように対応してこられたか。 また、まちづくり条例の改正は考えていかれるか。	町　長
５ ２番 二宮加寿子議員 (60 分) 14:05～15:05	１．通学路の安心安全対策を問う 集団登校中の児童、保護者の列に軽自動車が突入した事故の惨事を回避するため、通学路に危険はないか点検し、より一層の安全対策強化を望む。 （１）通学路の安全確保や危険箇所の改善 ①先入観を持たず、子どもの視点で通学路安全調査の現状と課題は。 ②教職員、保護者と警察署や関係部署、行政からなる安全対策の取り組みは。 ③安全対策の現地調査や要望、情報の共有化はできているか。 ④安全ボランティア活動の安全確保はできているか。 ２．自転車走行の安心安全を問う 自転車事故が交通事故の約２割という状況にあり、自転車の保有台数も増加している。 昨年の３月 11 日の東日本大震災後、自転車が見直され、健康志向、経済的理由、エコブームとなるが、自転車政策として環境の整備や最適化地域を目指す取り組みは。 （１）自転車走行利用者の交通規則の遵守は。 （２）子どもや子育て中の母親、高齢者に交通安全教育や「ＴＳマーク」の取り組みは。 ３．避難所の安心安全対策を問う 学校の天井や照明器具、外壁、内壁などが崩落して避難所として使用できず、また、児童や生徒が負傷する事故も発生。校内の防災備蓄の管理、運用と安全対策について。	町　長 教育長 町　長 教育長 町　長 教育長

	（１）非構造部材の耐震点検の取り組みは。 （２）防災備蓄の管理および点検は。 （３）ケガ人の緊急対策の充実と連携は。 ４．学校給食食材の安心安全を問う 　給食の放射線量を把握できれば、長い目で見て学校給食の安全管理と子どもの内部被曝の低減に役立てられる。考慮する取り組みを望むが。 （１）学校給食の放射線調査を行っている県内の自治体数は。 （２）放射線検査機器の活用方法と基準の設定は。 （３）地産、地消で地場産の野菜、魚（大磯港）、肉を食べさせる整備の充実は。 ５．学校施設などの緑化対策を問う 　国もグリーンニューディール化が進んでいるが、町の進捗状況を問う。 （１）校庭、園庭等の芝生化で緑化推進と健全育成の取り組みや施設の利活用は。 （２）緑のカーテンの実績は。	町　長 教育長 町　長 教育長
6 １２番 関　威國議員 （40 分） 15:25～16:05	１．５年先 10 年先の道路計画はあるのか （１）道路計画予定地に民家の建築許可や、宅地開発等を許可し、その後の道路整備に支障をきたしていないか、立退き等でムダな費用を使っていないか。 （２）不動川側道の道路整備事業は現状のままか、今後の拡幅計画は。 （３）平塚学園入口前の歩道に出っ張った状態で、宅地開発の許可をなぜしたか。 （４）平塚学園入口前の歩道をマリア道入口信号まで拡幅整備する計画は。 （５）いっこうに進まない幹線 28 号線歩道整備事業の計画は。 ２．孤独死、孤立死をなくす対策は （１）新聞、テレビ等で孤独死、孤立死が報道されているが、本町の現状は。 （２）高齢者の独り暮らし及び高齢者夫婦のみの世帯数は。 （３）個人情報保護法をたてに情報提供してこなかったが、今回、民生委員に情報提供したと聞いているが、その	町　長 町　長

	理由と内容および活用方法は。 （４）孤独死、孤立死を無くすのに、どのような対策を考えているか。	
7 ６番 片野　哲生議員 （40 分） 16:15～16:55	１．大磯町第４次総合計画に示されている文化・文化財について 大磯町第４次総合計画中期基本計画（平成 23～27 年度）には、第４章心豊かな人を育てるまちづくりの中に、第４項として、地域に根ざした文化の継承と創造があり、文化・文化財についての記述に、「受け継がれてきた文化や文化財は、かけがえのない町民共有の財産であり、適切な保護や保存をしていくことにより、次の世代に受け継いでいく必要があります」と謳われている。 また、目指すべき方向として「伝統ある貴重な文化財が適切に保護され、後世へ引き継がれるような環境が整っていて町民が主体となった地域に根ざした文化・芸術活動が行われている町」このことについて、どのようなことを具体的に進めていくのか。 ２．災害時後の指定避難所について 高麗地区、東町地区、長者町地区の指定避難所が大磯高校体育館になっているが、変更する考えはあるのか。	町　長 教育長 町　長

質問議員	質　問　事　項（　２　日　目　）	答弁者
８ １３番 坂田よう子議員 （60 分） 9:00～10:00	１．旧吉田茂邸再建の展望を問う 　県立城山公園との一体化による旧吉田茂邸再建は、歴史的・文化的遺産を包含する地域として整備が進み、平成 25 年度には一部開園となる。そのような中、再建レベルや詳細等について検討は着々と進行しているか。また、町民に対する説明会の開催は如何に具体化されていくか。 ２．教育行政の計画的推進を問う 　少子化への対応や女性の社会進出に伴い、多様性ある子育て環境の充実は、町民の期待を増している。本町においては、子どもを育てやすい環境づくりの推進や心豊かな人を育てるまちづくりにおいて、子育て環境の整備促進を行っている。しかしながら、教育行政の計画性において、更なる推進を求めるものである。 （１）大磯中学校のエレベーター設置について （２）サンキッズ大磯改築工事について ３．自治会活動促進の拠点整備を問う 　本町において、協働によるまちづくりの基礎は、自治会活動にあると考える。自治会活動の支援を行うと共に活性化を促す方針の中で、長年の懸案となっている茶屋町公民館の改築課題を町は解決に向け、如何に対応していくか。	町　長 町　長 教育長 町　長
９ ３番 土橋　秀雄議員 （30 分） 10:20～10:50	１．どのような理由で副町長選任の議案を撤回したのか、説明せよ 　副町長の選任の議案について、５月 16 日(水)議会運営委員会が開催され、町側から説明があった。 　５月 25 日(金)議会運営委員会が開かれ、副町長選任についての議案は、引き下げるとの説明があった。 　どのような理由で議案を撤回したのか説明せよ。	町　長
10 １番 奥津　勝子議員 （45 分） 11:05～11:50	１．安全安心エネルギーの町づくりは 　3.11 震災後の原発事故より、原子力発電に依存しない安全安心エネルギー社会をつくるための動きが地域、自治体、事業者の中で活発化している。 （１）自然エネルギー供給への町の取り組みについて。 （２）太陽光発電の町の取り組みについて。 （３）町の省エネ対策（教育施設を含む)。 （４）環境基本計画の考え方は。	町　長 教育長

11 １０番 高橋　英俊議員 （45 分） 13:00～13:45	１．大磯町のエネルギー対策について （１）ＰＰＳ導入の効果は。 （２）公共施設の契約方法や電気料金について。 （３）公共施設の節電対策について。 （４）再生可能エネルギーについての認識と導入の考えは。 ２．震災時における町の備えは 災害といっても様々な状況があるが、その正確な情報をどのようにとらえ、どのように仕分けをされ、町民の皆様への情報として発信してゆくのか、町としての備えについて問う。 （１）災害時における伝達経路はどのようになっているか。 （２）各町内への情報伝達はどのように行うか。 （３）防潮堤は津波の力に耐えられるか。 （４）三沢川下流の逆流対策について。	町　長 町　長
12 ９番 鈴木　京子議員 （80 分） 13:55～15:15	１．脱原発と放射能対策の早急な取り組みを 脱原発をめざす首長会議に加入されないか。また、保育園や学校給食をはじめ、町民の食に対する安全・安心の確保、放射線測定の町民参加の促進の考えはどうか。「安全」を刷り込むと問題が指摘される放射線の小中学校の副読本の扱いについて問う。 ２．まちづくり基本計画の改定は必要か 改定に着手するというが、５年間の検証や課題抽出が先ではないか。進め方を問う。 また、進捗の見えない葬儀場の条例制定はどうなっているのか。 ３．自治基本条例の評価される運用とは 「町の憲法」に町民の期待と関心があるが、町は町民の参画をどう進め、町民の行政に対する満足度を高めていくのか。 ４．学校法人国際学園との関係の正常化は進むのか 万台こゆるぎの森のサッカー場工事完了検査の取り下げ、保証金未払い問題、マリア道の負担など解決の見通しは。	町　長 教育長 町　長 町　長 教育長 町　長

13 １１番 吉川　重雄議員 （80 分） 15:35～16:55	１．依田教育長は、教育長としての職責を全うしているか 　町長は、みずからの選挙運動を公然とされていた依田氏を教育長として任命された。教育長として就任されてから１年間を経過している中で、１年間を通して教育長としての職責を全うされているかを問う。 　また、大磯町の教育行政を推進していく中で、問題点はあるのかを問う。 ２．コミュニティバス運行開始から２ヵ月が経過した。問題点はないかを問う 　高麗地区へのコミュニティバス運行が、赤坂台地区を先送りして突然開始されてから２ヵ月が経過した。バス運行について問題点はあるのか、ないのかを問う。 　また、この事業予算 2,100 万円の内容について問う。 ３．シルバー人材センターの会員増員計画に問題はないかを問う 　新年度、町から県を含め 380 万円の補助金を受けて始まっている大磯町シルバー人材センターの運営方法について、特に会員増員計画について問題はないかを問う。	町　長 教育長 町　長 町　長

１３名　　３３問

※時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。